

令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年(3)学年

◎教科(社会)

使用教科書	東京書籍 新編 新しい社会 歴史・公民		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代(大正デモクラシー以降)の世界について、日本を中心にその歴史的特徴と展開について、歴史用語と資料の活用をふまえ、理解し、説明することができる。 ・地理、歴史で学んだ知識をもとに私たちが暮らしている社会のしくみやルールについて理解し、私たちの暮らしがどのようにして維持されているか、また、これからどのような社会を築いていくべきかについて考えることができる。 		
学習計画	前期	4月 明治維新 大正デモクラシーの時代 5月 世界恐慌と日本の中国侵略 6月 第2次世界大戦と日本 7月 戦後日本の出発 冷戦と日本の発展 9月 新たな時代の日本と世界(歴史的分野終了) 現代社会と私たちの生活(公民的分野開始)	
	後期	10月 人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障 11月 現代の民主政治 国の政治の仕組み 12月 地方自治と私たち 消費生活と経済 生産と労働 1月 価格の働きと金融 政府の役割と国民の福祉 これからの経済と社会 2月 国際社会のしくみ さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本	
主な活動形態や使用教材など	<p>【主な活動形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉学習・・・教師と生徒一人一人が向かい合う形で授業をします。 ・少人数学習・・・4人、もしくは6人で意見を出し合ったり、分担して調べ学習をしたりします。 <p>【主な使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・・・学校で配布された教科書。 ・ノート・・・B5もしくはA4サイズの大学ノート。(教科担任より指定されたもの。) ・筆記用具・・・鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、赤青鉛筆(ペン)、のり ・タブレット PC(資料集)・・・学校で配布された PC。 		
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を通して知識、技能を習得することができるか。 ・歴史用語について理解、説明することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・記述(ノート、ワークシート) ・小テスト
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能を活用し、問題解決するために必要な思考力、判断力を身につけることができたか。 ・獲得した知識・技能を適切に表現することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業中の対話、発表活動(PC内の記録)
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身につけようとして粘り強く学習に取り組むことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・記述(ノート、ワークシート) ・授業中の対話、発表活動(PC内の記録) ・教師による行動観察、記録
学習についてのアドバイス	<p>【授業では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明をよく聞き、自分で調べる時間には進んで教科書や PC 等を使って調べられるようにしましょう。わからないときは教師や友人に聞けるようにしましょう。 ・話し合いをする場面では、友人の話をよく聞き、積極的に自分の考えを述べられるようにしましょう。 <p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークでの学習に繰り返し取り組みましょう。特にテスト前には最低限2回は問題に取り組めるようにしましょう。 		